

垂水市長の諸般報告について（情報提供）

標記の件につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

■資 料 本紙を含む全3枚

■内 要

令和3年8月27日（金）に開会されました令和3年垂水市議会第3回定例会における市長の諸般報告の中から、以下の通り報道機関の皆様に情報提供致します。

■詳 細

①新型コロナウイルスワクチン接種関連について

65歳以上の高齢者につきましては、先月末をもって、ワクチン接種を予約された方のほぼ全員が接種を完了したところでございます。

現在、64歳以下の方々の接種につきましても順調に進んでおります。

ワクチンの接種率でございますが、今月25日現在、高齢者につきましては、2回目の接種が終了された方の割合は、接種対象者全体の88.1パーセントとなっているところでございます。

また、12歳以上の方につきましては、1回目の接種が終了された方の割合は、接種対象者全体の68.6パーセント、2回目の接種が終了された方の割合は56.9パーセントとなっているところでございます。

接種を希望される方へのワクチン接種につきましては、10月下旬までにほぼ終了するよう、肝属郡医師会と随時協議を行いながら進めているところでございます。

②積水ハウスと本市との事業連携について

去る6月30日、積水ハウスなどの合同会社と垂水未来創造商社との間で道の駅たるみずはまびらの北側に、ホテルを建設するための契約が締結されたとの報告を受けているところでございます。

令和5年夏ごろ、仮称ではございますが、「フェアフィールド・バイ・マリオットホテル かがしま たるみず」としての開業を目指し、これから建設が進められるとのことでございます。

このホテルの建設により、道の駅を拠点とする様々な体験活動やレジャーの開発、新しい人の流れ・雇用の創出などが図られ、更なる地域の活性化に寄与するものと期待しております。

③「生理の貧困」への支援について

経済的な理由で生理用品を購入できない女性がいるという「生理の貧困」問題が、昨今顕在化してきており、女性の健康や尊厳に関わる重要な課題となってきております。

本市におきましては、これまでも全ての小・中学校において、保健室に生理用品を常備し、養護教諭や女性の職員が、いつでも対応できる体制を整えているところでございます。

今回、この対応に加えまして、本庁や両支所、子育て支援センターなどの公共施設や、小・中学校のトイレに生理用品を備えることで、自由に受け取ることが可能となるよう、その提供方法につきまして工夫をしたいと考えているところでございます。

このようなことから、今議会に、生理用品の購入等に関する予算につきまして、上程させていただいております。

なお、災害発生時の避難所等における生理用品の備蓄に関しましては、現予算で購入し、既に、防災倉庫に備蓄したところでございます。

本市におきましては、生理用品の提供だけではなく、それを一つのきっかけとして、「生理の貧困」にある女性の背景や事情に丁寧に向き合い、きめの細かい寄り添った支援が充実するよう、今後とも取り組んでまいります。

■問い合わせ

- ①ワクチン接種関連 垂水市保健課 ☎0994-32-1111
- ②積水ハウスとの事業連携関連 垂水市企画政策課 ☎0994-32-1111
- ③「生理の貧困」への支援
 - ・学校対応 垂水市教育委員会学校教育課 ☎0994-32-7213
 - ・公共施設への設置 垂水市福祉課 ☎0994-32-1111
 - ・今議会への予算計上 垂水市財政課 ☎0994-32-1111
 - ・生理用品の備蓄 垂水市総務課 ☎0994-32-1111

■情報発信元

垂水市役所企画政策課 秘書広報係 羽生・山元・永田 ☎0994-32-1111 (271)